

日本農業気象学会近畿支部 2017年度大会

プログラム

とき 2017年12月2日(土) 9:45~17:00

ところ 大阪府立大学学術交流会館

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

9:45~12:00 《一般研究発表》 会場：小ホール

1. 北方湿原における温室効果ガス収支比較のためのメタン交換量推定モデルの構築
○二口雄介・植山雅仁(大阪府立大)・平野高司(北海道大学)・
矢崎友嗣(明治大学)・小南靖弘(北海道農研)・原菌芳信(大阪府立大)・
五十嵐康記(名古屋大)・岩田拓記(信州大)
2. 陸域生態系モデルを用いた美唄湿原の温室効果気体収支の評価
○岡村幹太・植山雅仁・二口雄介(大阪府立大)・
伊藤昭彦・平田竜一(国立環境研)・平野高司(北海道大)
3. 建築物壁体の蓄熱量と室内貫流熱負荷との関係
久良友紀・住山裕樹・高山 成(大阪工業大)
4. 大阪府営大泉緑地内における緑陰の機能評価
○奥間優作・山田宏之(大阪府立大)
5. 人工衛星による中国黒龍江省松嫩平原における稲作拡大状況のマッピング
南 拓人・高山 成(大阪工業大)・山本晴彦・山崎俊成(山口大)・
王 秀峰(北海道大)
6. UAVを使った天然記念物鳥取砂丘における植生分布と砂面変動の
短期間変化のモニタリング
富永拓斗・高山 成(大阪工業大)・劉 佳啓(鳥取大院連合農学研究科)・
木村玲二(鳥取大乾燥地研)
7. レーザー光散乱特性を用いた空中花粉の自動識別
○松田壮顕・川島茂人(京都大)・藤田敏男((株)大和製作所)・
Michel Thibaudon (Le Réseau National de Surveillance Aérobiologique)・
Bernard Clot (Federal Office of Meteorology and Climatology MeteoSwiss)・
中村公人(京都大)

8. The climatological model for forecasting the annual total airborne pollen
Yi-Ting Tseng, ○Shigeto Kawashima (Kyoto Univ.),
Satoshi Kobayashi, Shinji Takeuchi (Hokkaido Inst. Public Health),
Kimihiro Nakamura (Kyoto Univ.),
Bernard Clot (Federal Office of Meteorology and Climatology MeteoSwiss)

9. 深夜に観測された空中花粉濃度の上昇
○福重雄大・川島茂人・中村公人（京都大）

12:00～13:30 《昼食》

《支部役員会》

13:30～14:15 《支部総会》 会場：小ホール

14:30～16:45 《シンポジウム「気候変動とその生態系や私達の暮らしへの影響を考える（4）」
日本農業気象学会近畿支部・生態工学会関西支部共催
会場：小ホール

1. 地球上の水の動き・水の利用
川島 茂人（京都大学 大学院 農学研究科）
2. 極地に生息する植物病原菌とそれらに及ぼす気候変化の影響
東條 元昭（大阪府立大学 大学院 生命環境科学研究科）
3. 気候変動対策に向けた石炭火力発電の現状と課題
寺添 齊（一般財団法人 電力中央研究所 環境科学研究所）

17:00 頃～ 《情報交換会》

【参加費など】

情報交換会に参加予定の方は、必ず支部幹事（青野）まで
E-mail でお申し込み下さい。

支部大会に参加される方	1,500 円（うち講演論文集(要旨集)代 1,000 円)
シンポジウムのみ参加される方	無料
情報交換会参加費	一般： 4,000 円， 学生： 2,000 円（予定）

【お問い合わせ】

〒599-8531 堺市中区学園町 1 - 1

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 生態気象学研究グループ 気付

日本農業気象学会近畿支部事務局 【支部幹事・青野靖之】

TEL 072-254-9431 （青野直通）

E-mail : aono@envi.osakafu-u.ac.jp

【会場へのアクセス】



中百舌鳥キャンパスまでのアクセス

- ◆ 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分。
- ◆ 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1,000m、徒歩約13分。
- ◆ 地下鉄御堂筋線「なかもず駅(5号出口)」から南東へ約1,000m、徒歩約13分。

